

埼玉王

2014年度第8回プロジェクト

メーホンソン県メーピン校訪問報告

当協会会員 現地滞在者 堀田繁氏レポート

メーピン校校舎1棟4教室につきましては、2015年2月引渡し後、すでに1年経過しましたが、今年1月に訪問してきました。

校舎はジラポン校長の教育に対する強い意思もあり、すべての教室がきちんと整理整頓され、きれいに使用されていきました。校長の提案で2教室が活動ルームになり幼児教育に役立てられています。活動ルームには音響設備も入り、幼児が楽しく活動しているようです。また、訪問時には幼児たちがダンスを披露してくれました。

現在、幼児28人、小学生160人余ですが、幼児クラスを45人程度に増員して教育の場を拡大



▲メーピン校校舎



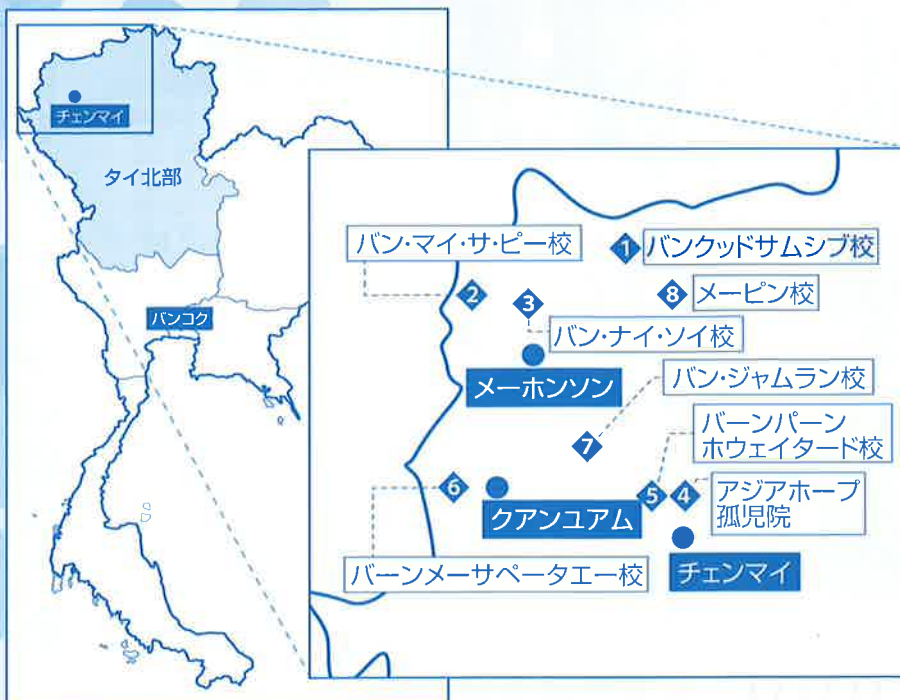
▲きれいに整理整頓された教室



▲ジラポン校長とともに

したとのこと、スタッフも20人に増員しており、そのうち5人は校長自ら雇用されているとのことです。

教育施設建設・寄贈、ダルニー奨学金等今までの支援実績



No.	学校名	寄贈施設
1	バンクッドサムシブ校	寄宿舎(47坪×2棟)
2	バン・マイ・サ・ピー校	オーブンスタイル教室(34坪×1棟)
3	バン・ナイ・ソイ校	図書館(25坪×1棟)
4	アジアホープ孤児院	孤児院乳幼児用寄宿舎(48坪×1棟)
5	バーンパーンホウエイタード校	図書館(21坪×1棟)
6	バーンメーサペータエー校	校舎(77坪×1棟)
7	バン・ジャムラン校	校舎(77坪×1棟)
8	メーピン校	校舎(100坪×1棟)

ダルニー奨学金受与者
基礎奨学金事業寄付金3年分(卒業まで支援)×116名

新たな人材育成支援について

当協会では埼玉県とタイ王国との友好関係を図り、民間レベルの草根の教育施設の建設・寄贈をしてまいりました。このような取り組みは、特に国の支援の届かないタイ北部の山岳地帯に展開してきたことから、埼玉県とタイ王国との友好に一定の成果をあげることができたものと思えます。

しかしながら、課題の一つとしてタイ北部の山岳地帯の教育施設では自然・生活環境等が厳しいことから、なかなか優秀な指導者の確保・定着には困難をきたしていると聞いています。

そこで、当協会の取組みとして、そのような課題解決のため、新たな人材育成支援を実施したいと考えています。具体的には、過去に建設・寄贈してきた教育施設の卒業生の中



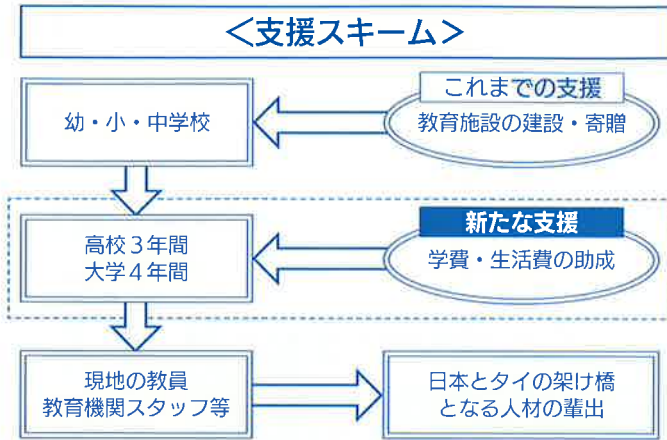
▲メーピン校の生徒たち

で将来タイ北部の教育関係の仕事に就くことを希望する高校生・大学生を対象に、学費及び生活費の一部を助成してまいります。



▲メーピン校旧校舎

＜支援スキーム＞



プミポン国王陛下の御誕生日祝賀レセプション開催される



▲シハサック・プアンゲッゲオ駐日タイ王国特命全権大使(当時)を囲んでの記念撮影
[在東京タイ王国大使館ホームページより引用]

昨年12月4日、帝国ホテルにおいてタイ王国大使館とタイ政府関係機関主催の、同年12月5日に88歳を迎えられたプミポン国王陛下の御誕生日を祝うレセプションが開催されましたので、当協会より萩原事務局長が出席しました。

祝賀レセプションは、駐日外交関係者、政界、民間企業、支援団体など関係各界から来賓約700名が出席しました。冒頭、シハサック・プアンゲッゲオ駐日タイ王国特命全権大使(当時)より開会のご挨拶があり、タイ国民の発展のために尽力されているプミポン国王陛下のこれまでのご功績など紹介されるとともに、ますますのご健勝を祈念されました。また、プミポン国王と日本の天皇家との古

くからの密接な関係や日本・タイ両国の長い友好関係、及び今後の日本とアセアンの経済協力関係等についても述べられました。

他方、日本側からは来賓を代表して日本・タイ友好議員連盟会長の塩崎恭久厚生労働大臣が祝辞を述べられ、続いて日・タイビジネスフォーラムの北山禎介会長から祝杯のご挨拶がありました。さらに、日本・タイ友好議員連盟幹事長の河野太郎内閣府特命担当大臣、山口那津男公明党代表など多数の来賓が出席されました。

賑やかな宴席では、タイ王国陛下の御誕生日を祝する展示や記帳所が設置されたほか、タイの民族舞踊の披露やトムヤムクン、タイカレー、カオソーイなど美味しいタイ料理が提供されました。



▲塩崎厚生労働大臣と握手するシハサック・プアンゲッゲオ駐日タイ王国特命全権大使(当時)
[在東京タイ王国大使館ホームページより引用]

大使からのメッセージ

バンサーン・ブンナーク駐日タイ王国特命全権大使

埼玉・タイ王国友好協会会員の皆様、こんにちは。

タイ国王陛下より駐日タイ王国特命全権大使を拝命し、2016年3月31日に日本国天皇陛下に信任状を捧呈し正式に着任致しました。私の人生において大変に光栄で名誉なことであり、多様な分野における二国間関係、政府・民間・国民同士などあらゆるレベルでの関係が、より緊密になるために任務を果たしていきたいと思っております。

日本はタイにとって重要な戦略的パートナーであり、古くからの友人です。2017年には日タイ修好130周年を迎え、年間を通し両国において祝賀式典や記念事業が行われます。歴史的にもタイと日本が深い関係にあることを、両国民が理解する貴重な機会となるでしょう。

駐日タイ王国大使として、私は両国間における貿易と投資の促進を重要なものと考えています。これまで私は、多くの企業経営者たちと会談し、タイ政府の投資奨励政策により多くの高い優遇措置や恩恵を受けられる旨を説明し、高度技術産業分野への投資誘致を行ってきました。埼玉県は貿易そして観光において高い可能性を持っています。県内企業がタイへ進出し、タイを拠点としてさらに周辺国へ事業拡大をする場合、タイ政府は日本からの投資家に対して全面的に協力することをお約束致します。また同時に、多くのタイ人が埼玉県を観光で訪れるように、私は埼玉県を大いにPRしていきたいと思っております。

埼玉・タイ王国友好協会には、これまでタイ王国大使館に多大なご協力を賜りまして、深く感謝申し上げます。タイ大使館は今後も協会を支援すると共に、協会からのご意見・ご助言を賜りたく存じます。引き続きどうぞよろしくお願い致します。

最後になりますが、会員の皆様に敬意を表すと共に、皆様のご活躍とご発展を心よりお祈り申し上げます。両国の良好な関係をさらに深化させるべく、協会と大使館が連携を深めて行くことを願っています。



バンサーン・ブンナーク
駐日タイ王国特命全権大使

略歴

1959年タイバンコク生まれ
アメリカ デトロイト大学大学院
国際政治経済修士号
1984年タイ外務省に入省後、駐ミャンマー連邦、駐ポーランド共和国、駐シンガポール各国タイ王国大使を歴任

タイ水道公社研修生ウェルカムパーティ

昨年11月24日、さいたま市のプリムローズ有朋を会場に埼玉県企業局が開催した、タイ地方水道公社研修生8名との懇談会に当協会の原敏成会長が来賓として招待され、事務局の小高重行と共に出席しました。当日は企業局8名、通訳として大学留学生4名が出席し、懇談会が行われました。

来賓挨拶に立った原会長は、タイ北部にあるメーホーンソン県に8箇所目の教育関連施設となる保育園校舎を寄贈したことを紹介しました。また、チョンブリ県から始まった埼玉県の支援事業が、現在はチェンマイ県、ノンカイ県にまで広がりをみせていることを「企業局様のご尽力、ならびに研修生の方々が一生懸命に勉強された結果だと感じております」と称えました。

支援事業は11月23日～12月4日の12日間に渡り、企業局の会議室や浄水場等で開催され、効率的な浄水技術や環境リサイクル技術、自動水質測定装置の活用方法などを学びました。



▲懇談会に出席された皆さん



▲研修生らと懇談する原会長



▲来賓挨拶をする原会長

埼玉・タイ王国友好協会からのお知らせ

第17回 タイ・フェスティバル2016

今年のテーマは
Discover Thailand's BEST

入場無料

5月14日(土)
15日(日)

10:00~20:00

代々木公園
イベント広場



ぜひご参加ください



昨年の風景

第18回総会開催

下記の要領で総会を開催します。
バンサーン・ブンナーク駐日タイ王国特命全権大使のご講演を予定していますので、ぜひご出席ください。

日時 平成28年7月12日(火)
16:00~17:00 総会・講演会
17:00~18:30 懇親会

場所 川越東武ホテル
川越市脇田町29-1 ☎049-225-0111

司 埼玉・タイ王国友好協会 総会・講



▲昨年のシハサク・ブアンゲッゲ
オ前駐日タイ王国特命全権大使
のご講演 ▲昨年の総会風景

タイでサッカー教室 在タイ邦人に人気

日系企業や駐在員などの在タイ邦人の子どもたちに近年人気の習い事は、サッカー教室だそうです。タイはサッカーのプロリーグ「タイ・プレミアリーグ(TPL)」の人気の高まっており、日本のプロリーグであるJリーグもタイと積極的に関わっています。

そんなTPLやその下部リーグで活躍する選手や豊富な指導経験のあるコーチたちが、バンコクでサッカースクールを運営し、日本の子どもたちに指導しています。子どもと大人と一緒に楽しめる教室が多いのが特徴で、日頃の運動不足解消、家族サービスとして親しまれています。

タイ国内のニュース紹介サイト

「アングル」
って知っていますか?

タイに興味を持つ日本人へ、滞在者の視点で捉えたリアルタイムな情報を発信している「ANGLE(アングル)」というサイトがあります。アート、ファッション、音楽、グルメ、ライフスタイル、スポーツ、ビジネスなどタイの様々なトピックスが紹介されており、おすすめスポットのレポートやユニークなムービーもあり、タイの生活を垣間見ることが出来ます。ホームページのアドレスは「<http://angle.org/>」です。

編集後記

●新緑の季節を迎えて美味しいマンゴーも旬を迎えます。今年もタイフェスティバルを楽しみましょう!! (H)

●寄贈施設が大切に使用されており、とても嬉しく思いました。ここで育った児童たちが活躍することを祈っています。(S)

埼玉・タイ王国友好協会ウェブサイト

<http://www.saitama-thai-fa.ecnet.jp/>

●会員増強にお役立て下さい

会 員 募 集

年会費 法人会員 2万円 個人会員 2千円 問い合わせ TEL:049-247-5428 FAX:049-246-2118 (武州ガス様内)